

❖□■□■□❖□■□■□■□❖□■□■□■□❖□■□■□■□❖
メールニュース9月号 理研バイオリソースセンター実験植物開発室
❖□■□■□❖□■□■□■□❖□■□■□■□❖□■□■□■□❖

2015. 9. 28

このメールは、最近リソースの請求をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方はお手数ですが、plant@brc.riken.jp までご連絡ください。

---● 第4回Brachypodiumワークショップについて ●-----

第4回 Brachypodium (ミナトカモジグサ) ワークショップの参加受付を開始しました。今回は理研バイオリソースセンターでの初開催となります。そこで、会議にあわせて施設見学を行うとともに、進展著しいゲノム編集技術に関する講演もプログラムに加えました。皆様の参加をお待ちしております。

<http://epd.brc.riken.jp/ja/archives/3465>

---● シロイヌナズナFOXライン個別系統のリスト公開 ●-----

当室で増殖を行ったシロイヌナズナFOXライン (シロイヌナズナ遺伝子強制発現系統) のうち挿入遺伝子の情報が付加されている7,034系統のリストをファイルで公開しました。ご利用の際に参考にさせていただければ幸いです。

<http://epd.brc.riken.jp/ja/archives/3429>

---● 出展のお知らせ ●-----

以下のイベントにて、「イノベーションに貢献する植物リソース」について紹介します。ご来場の際にはお立ち寄りいただければ幸いです。

アグリビジネス創出フェア (東京、11月18日~20日)

<http://www.agribiz-fair.jp/detail.php?id=1943>

---● テクニカルサポート (No. 17: 植物培養細胞の増殖を調べる方法) ●-----

植物培養細胞は延々と増殖し続けています。この性質があるため、常に実験に使用することができます。それだけでなく、細胞増殖は培養細胞の状態のバロメーターにもなります。健康に維持されている培養細胞は安定して増えているはずですが、その増殖量はフラスコやシャーレを眺めていても、なかなかわかりにくいと思います。

カルス培養、懸濁培養ともに継代直後に写真を撮影しておけば、培養期間中に増殖したかどうかわかりやすくなります。定期的に撮影すれば、より比較しやすくなるでしょう。

懸濁培養では、細胞増殖の簡便な指標に静置細胞量 (settled cell volume) と圧縮細胞量 (packed cell volume) があります。どちらも、まず培養物をよく攪拌し、一部を目盛りのついた遠心管にサンプリングします。静置細胞量は一定の時間静置した後に、圧縮細胞量は一定の条件で遠心した後に、沈殿した細胞の体積を測定します。ただし、培養細胞が生きているかどうかを判定するには、顕微鏡観察が必要です。その他の細胞増殖の測定方法は総説を参考にしてください。

Mustafa et al., (2011) Initiation, Growth and Cryopreservation of Plant Cell Suspension Cultures. Nature Protocols 6: 715-42. doi:10.1038/nprot.2010.144

●-----●
● ● 利用者の皆様へ ●-----●

理研BRCのリソース事業は皆様のご協力により支えられております。ご意見、ご要望がありましたらぜひ下記までお知らせいただければ幸いです。リソース寄託のご相談もお待ちしております。

●-----●
❁*:・'° ❁°'・*:。 ❁*:・'° ❁。.:*:。.:*❁
理化学研究所バイオリソースセンター
実験植物開発室 提供係
〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1
TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053
MAIL plant@brc.riken.jp
HP <http://epd.brc.riken.jp/>
❁*:・'° ❁°'・*:。 ❁*:・'° ❁。.:*:。.:*❁